

経済産業省政策会議の概要

日 時：平成21年12月4日（金） 8時00分～8時15分
場 所：参議院議員会館 第2・3会議室
出席者：増子副大臣、近藤政務官 他20名程度
議 題：（1）平成22年度税制改正（政府税調での議論の途中報告等）
（2）経済対策について

1. 会議冒頭挨拶

（増子副大臣）

- ・昨日、政府税調の2次査定が出された。1次査定から2次査定の間には政務官協議が行われ、昨日、私と峰崎副大臣の副大臣級折衝が行われた。
- ・簡単に申し上げますと、皆様の様々なご意見をある程度受け止めていただいて合意できたと思っている。ただ、まだ8合目。マニフェストの主要項目である中小企業軽減税制、オーナー課税の廃止の問題については、引き続き、主要項目として折衝中であり、税調の中でも色々議論されている。
- ・円高、デフレを含めて大変厳しい経済環境であれば、やはり中小企業をしっかり守り、中小企業を育てて、中小企業が夢や希望を持てる様な税制に私たちがしていくという大事な事が残っている。今後とも宜しくお願ひしたい。
- ・経済対策については、菅副総理の下、副大臣クラスによるチームが作られ、色々議論してきた。経済産業省としては、予算の枠にこだわらず、スピーディーに現下の経済環境の中で強いメッセージを鳩山内閣としては出すべきではないか、ということを一貫して主張してきた。
- ・本日、同時刻で総務・財務の合同政策会議がある。皆さんも予算や税制がどういう形になっていくのかということをお情報共有していただければ、出席していただくことが良からうかと思うので、この会議は概ね15分には終わりにしたいと思うので、ご協力方お願ひしたい。
- ・これからが本当の本番だという共通の認識を持って頑張っていきたいと思うので、宜しくお願ひしたい。

2. 増子副大臣より、税制改正及び経済対策について報告。

3. 閉 会

（近藤政務官）

政府税調の場で、「税制の美学のために経済を犠牲にしているのか」という、この政策会議であった発言を紹介させて頂いたところ、政府税調のメンバー

にも非常に響いたようだ。皆様のご意見は非常にインパクトが大きいので、引き続き、活発なご意見をお願いしたい。

以上